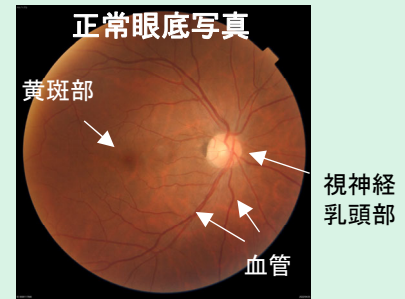


眼底検査って何？

眼は唯一のむき出しの臓器。眼底検査は
外から血管や神経を直接観察できる検査です

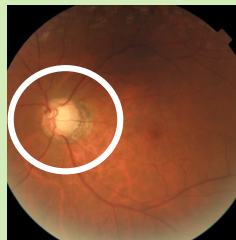
眼の中の
網膜や視神経の状態、血管の変化を観察して、
病気の早期発見につなげます。



検査方法 眼底カメラの台の上にお顔を乗せていただき
眼底の写真を撮ります。
健康診断では散瞳せずに検査します。

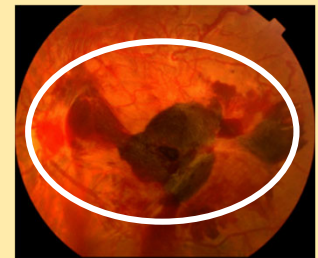


眼底検査で疑われる眼の病気



視神経乳頭陥凹拡大 → 緑内障の疑い
徐々に視野が狭くなる病気です。
進行するまで視力が下がらず異変に気づいたときには
末期になっている可能性があります。

眼底出血 → 糖尿病網膜症などの疑い
糖尿病が強く疑われる人は10人に1人と言われる
時代となりました。
血糖値のコントロールと症状がなくても定期的に
眼底検査を受けて早期発見に結び付けましょう。



出展：公益社団法人日本眼科医会



黄斑部の変化 → 黄斑部の病気
中高年に多く、「ゆがむ」「見ようとするところが
見えづらい」「大きく見える」などの自覚症状が
出やすいです。片方の眼が良いと気がつきにくい疾患
です。

眼の病気の多くは、初期や軽症の状態では自覚症状がほとんどありません。

・眼をよく使う ・40歳以上 ・持病をお持ちの方
・運転をよくする方 ・毎日PCやスマホを長時間使う方 など、
見え方に心配事がない方にも眼底検査をお勧めいたします。
もちろん、自覚症状が出たときは、眼科へ相談に行きましょう。
健康診断での眼底検査はオプション検査でも実施できます。

